

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

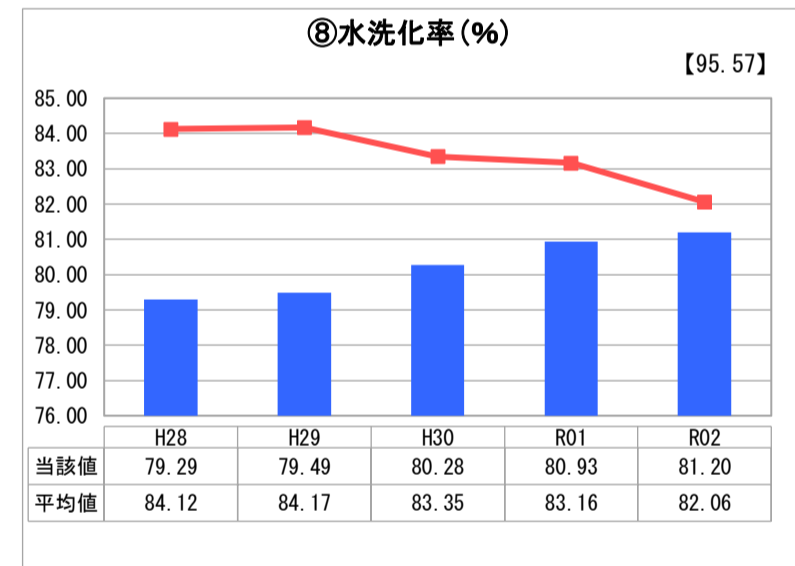
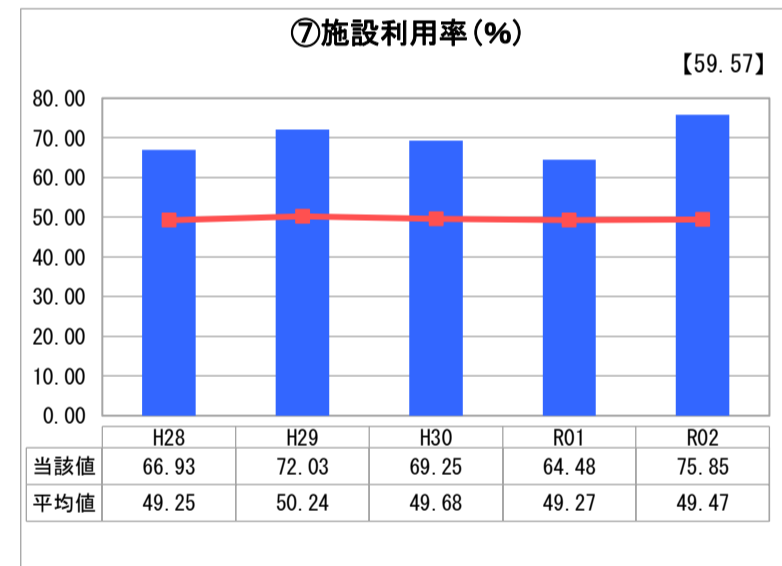
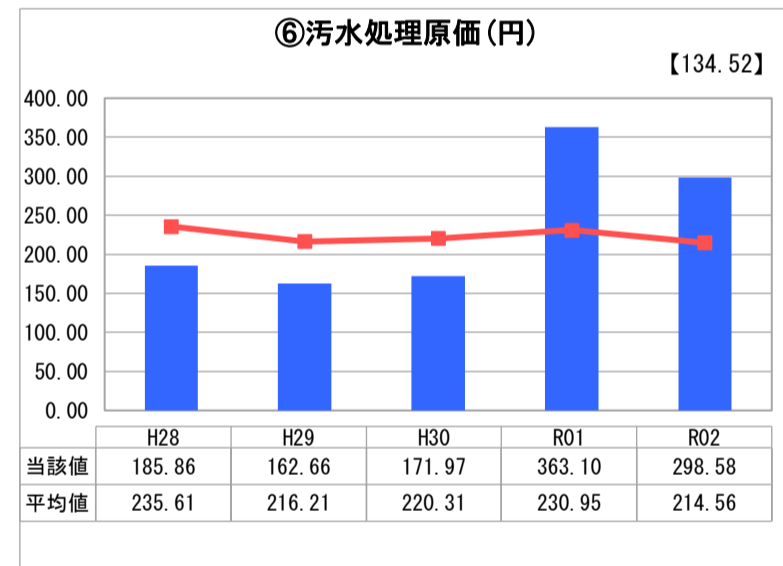
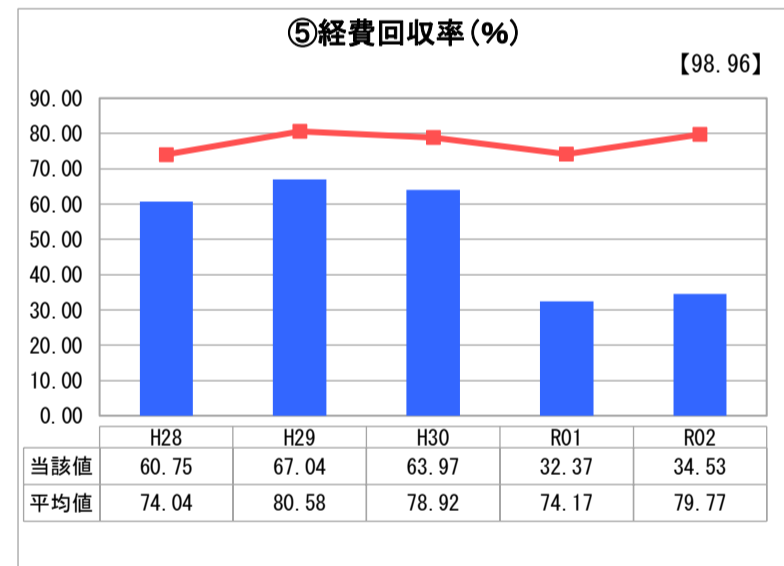
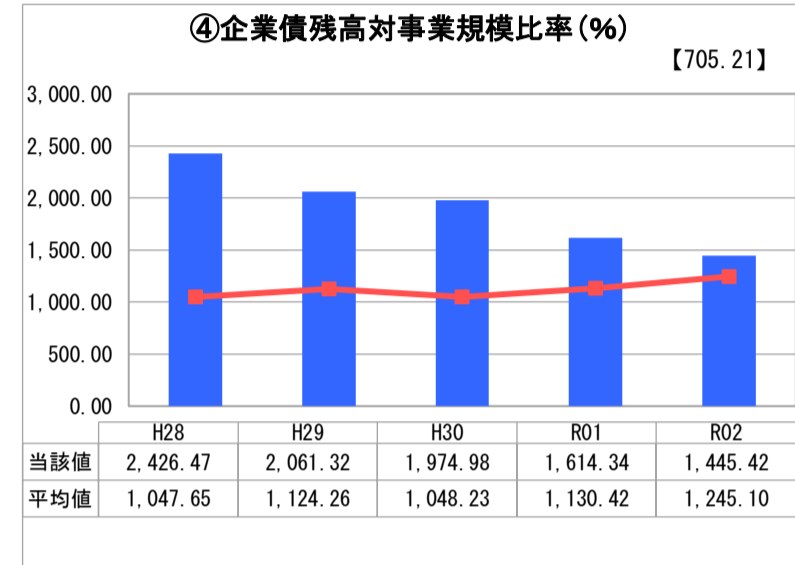
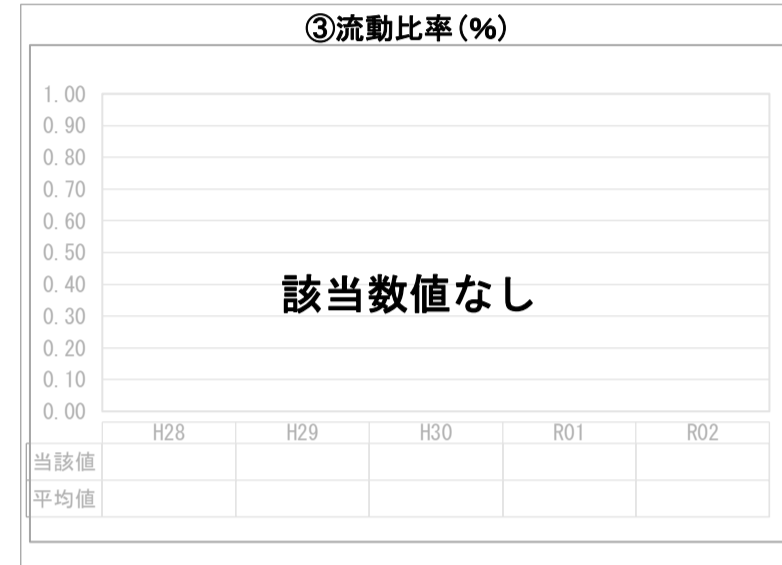
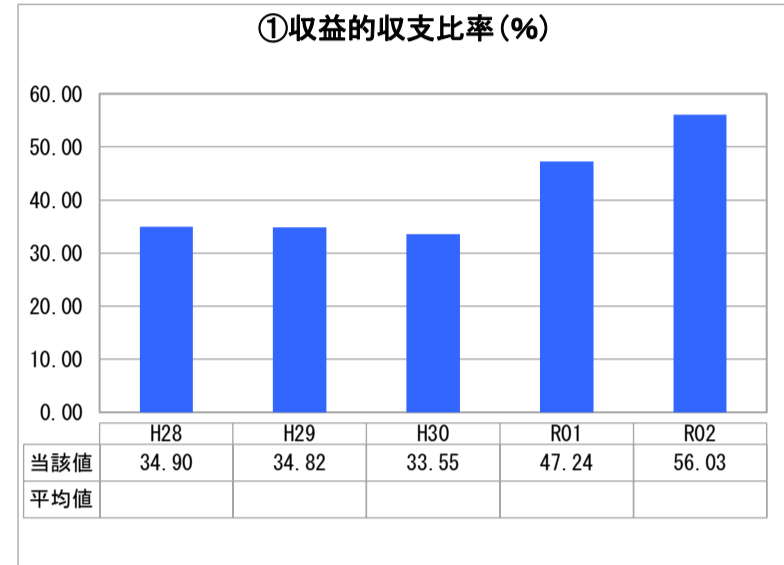
福井県 美浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	61.20	100.00	4,312

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,282	152.35	60.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,616	3.33	1,686.49

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率、⑤経費回収率からみると、当町の公共下水道施設は、現行使用料金収入が低く、汚水処理費用を賄うことが出来ていない。そのため、地方債元利償還金や維持管理費の一部を一般会計から繰入金として受け入れることで経営を維持している状況である。今後は、料金改定や維持管理費用の削減など経営改善へ向けた取組が必要である。

⑥汚水処理原価については、類似団体平均値を大きく上回っていることから、投資の効率化や維持管理費の削減等の取組といった経営改善に努めていく必要がある。

④企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値よりも高い水準で推移しているが、年々減少しており、今後は、料金改定を含めた使用料金収入の確保や施設の計画的な修繕や更新を行い、経営改善を図っていく必要がある。

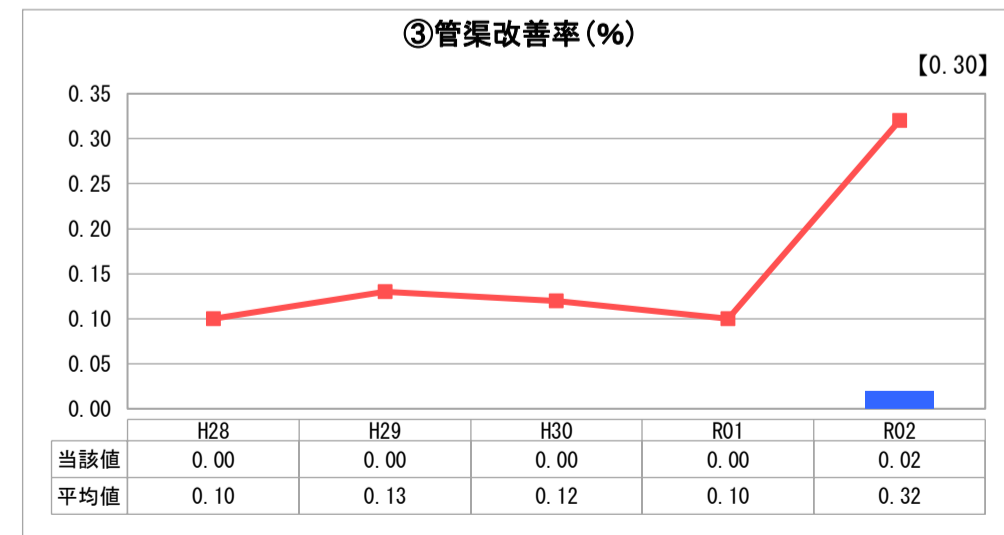
⑦施設利用率については、類似団体平均値より高い状況ではあるが、汚水処理人口の減少等により施設利用率が低下することが想定されることから、集落排水施設との統合を始め、より一層の加入者の増加に努めていく。

⑧水洗化率については、類似団体平均値を下回っているが、啓発を行い微増ではあるが増加傾向にあるため、更なる水洗化率アップに努めていく。

### 2. 老朽化の状況について

平成元年度から事業に着手し、管渠においては平成2年度、処理場においては平成4年度から整備を開始している。最も経過している管渠で31年、処理施設で26年となっているが、管渠について現状としては更新・老朽化対策は実施していない。しかし、処理場については機械・電気設備の修繕が多くなってきていることから、今後はストックマネジメント計画に基づき、計画的に修繕や更新を行い健全な施設管理に努める。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現在、公共下水道の整備は完了しているが、水洗化率の低迷や人口減少等による使用料金収入の減少、施設等の老朽化に伴う更新需要の増大等が大きな課題となっている。

こうした中で、短期的な対策として接続促進を強化していくことが重要であり、また、長期的な対策としては、使用料金収入の確保はもとより、将来的な施設の更新を見据え、定期的な点検等により適切な維持管理を行うとともに、ストックマネジメント計画に基づき、維持管理費などのトータルコスト削減に努めることが重要である。一方で、今後想定される人口減少社会を鑑み、町全体の下水道計画区域の見直しを含め、効率的な下水道整備を推進していくことが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。